

ボランティアクレジット プラットフォーム クレジット発行機関等の 最新動向(2023 年 3 月)

2023 年 3 月 29 日

クックストーブ方法論に過剰クレジット発行の疑い

研究者がクックストーブ方法論、過剰なクレジット発行につながっているとの研究成果を発表

カリフォルニア州立大学バークレー校の研究者らがアフリカやインドの農村で、薪炭の代わりに、より排出量の少ないクックストーブを提供する排出削減事業、クックストーブプロジェクトが過剰にクレジットを発行している疑いがあるとアメリカ、UCLA バークレー校の研究者のペーパーが指摘した。研究成果によれば、一部の方法論で過小に削減量が評価されている場合もあるが、ほとんどが過剰なクレジット発行となっている。これは、排出削減量を算定するための様々な係数が適切ではないため、と説明されている。

クックストーブ方法論を利用したプロジェクトについて、クレジットの信頼性評価を行っている BeZero 社においても、24 のクックストーブプロジェクトのうち 23 件が排出削減の可能性は低く、BB～C という非常に低い評価を与えている。クックストーブ方法論は 2009 年以前の CDM において承認され、ゴールドスタンダードなどの民間のクレジット発行機関でも多く適用されてきたものの、最近まではボランティアクレジット市場でもマイナーな部類だった。しかし、2021 年からは新規登録数が急増し、その結果多くの注目を浴びることになった。クックストーブプロジェクトに関わる事業者からは、その課題を認める一方、現実のクリーンエネルギー普及市場は理想状態とは異なり、過剰な批判により、途上国の農村でのクリーンな調理器具の普及を阻害する可能性があることを警告している。

2023年3月のボランタリークレジット発行機関などの動向

国名/団体名	ニュースヘッドライン	出所	日付
日本	CCS クレジットハンドブック発表	JOGMEC プレスリリース	2023-3-2
国際	Climate Action Reserve、米国の大規模火災を回避するための炭素クレジット予測手法を公開	Carbon pulse	2023-3-9
スイス	スイスの気候変動対策団体 Myclimate のボランタリーカーボン利用、「カーボンニュートラル認証」を廃止、「気候変動貢献認証」に切り替え	Carbon Pulse	2023-3-10
国際	クックストーブプロジェクト、過剰クレジット発行の疑い	Carbon Pulse	2023-3-14
国際	Verra、国連の米作中干し耕作によるクレジット手法の廃止を決定	Verra プレスリリース	2023-3-20
国際	パークレー大公共政策、森林由来プロジェクトの過剰なクレジット発行防止のために厳しいルールが必要と主張	Carbon Pulse	2023-3-21
国際	途上国向けクリーン調理普及プロジェクトの過剰クレジット批判、クレジットスコア評価の引き下げとクリーン調理普及プロジェクトの現実	Carbon Pulse	2023-3-22

(文責) 小松 潔 (日本エネルギー経済研究所)

(情報収集) 森本壮一 (日本エネルギー経済研究所)